



2020年8月20日

各 位

会 社 名 株式会社フェニックスバイオ  
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 島 田 卓  
 (コード番号: 6190 東証マザーズ)  
 問 合 せ 先 専務取締役管理部長 田村 康弘  
 (TEL 082-431-0016)

コンソーシアムにおける共同研究成果の論文掲載について

当社は、当社製品であるPXBマウス及びPXB-cellsの新薬開発における有用性検証を目的として、2016年にコンソーシアム (CMHL Consortium) を組成し、北米の製薬企業中心に（現在、本コンソーシアムには製薬企業8社、CRO1社及び大学1校が参画。）共同研究を進めております。

この度、コンソーシアムでの研究成果として、研究テーマのひとつが論文として学術誌に掲載されましたのでお知らせいたします。

1. 論文について

この度、コンソーシアム参画メンバーであるTakeda Pharmaceutical Company Limited, Cambridge, MAの研究チームの論文（タイトル: Prediction of Human Disproportionate and Biliary Excreted Metabolites Using Chimeric Mice with Humanized Liver）が「Drug Metabolism and Disposition (ASPET: 米国薬理学会)」に下記のとおり掲載されました。

当社は、今後もコンソーシアムでの研究を通じて、PXBマウスの有用性の検証及び用途開発を進め、新薬開発にPXBマウスが寄与できるよう努めてまいります。

2. 論文の内容

(1) タ イ ト ル	Prediction of Human Disproportionate and Biliary Excreted Metabolites Using Chimeric Mice with Humanized Liver
(2) 要 約	<p>医薬品開発において、実験動物では検出されず、ヒトでのみ検出される主要代謝物はdisproportionate metabolite（以下、「DM」）と呼ばれている。</p> <p>本研究では、DMを持つ4種の化合物をPXBマウスとSCIDマウス(注)に投与した。その結果、PXBマウスではすべての化合物でDMが検出され、SCIDマウスではほぼ検出されなかった。4化合物のうち、抗ヒスタミン薬であるDesloratadineのDMは、臨床において投与早期(0-4時間)のサンプルからは検出されるが、投与24-48時間には検出されない。この現象はPXBマウスで再現され、DMはDesloratadineを投与したPXBマウスの胆汁中から検出された。このDMは腸内において腸内細菌によりさらに代謝されるため、投与24-48時間には検出されないことが判明した。PXBマウスは、臨床では採取することができない胆汁を採取し、医薬候補品やその代謝物のクリアランスを調べることができることから、ヒトにおける薬物動態を理解するために非常に有用なツールである。以上の4つのDM実験の結果から、PXBマウスは医薬品開発において、ヒト特異的代謝物の検出に有用であると考えられた。</p>

※注. 本研究では、PXBマウス（ヒトの肝細胞を持つマウス）と比較する実験動物（コントロール動物）としてSCIDマウスを使用。

以 上